

CSRトピックス



のべ17,580本を植樹

温室効果ガスの削減で地球環境を守ろうと、当行創立70周年(平成15年)を機に、行ってきた植樹の合計が17,580本になりました。苗木の生長を促進するため毎年、当行の役職員とその家族が除草作業も行い、8年間で約7,500名が参加しました。



「びわこ地球市民の森(守山市)」で植樹を実施

学校ビオトープづくり 資金を3校に贈呈



ATMやインターネットから「エコプラス定期」にお預け入れていただくたびに7円(申込用紙代相当額)を当行が拠出し、積み立てた資金を毎年、滋賀県内の小学校にビオトープ制作の助成金として贈呈しています。平成24年度は県内3校に総額1,248,000円を贈呈、助成累計は23校、1,079万円にのびます。



大道頭取(右から2人目)から3校に目録を贈呈

地域福祉の向上を願って



地域福祉の向上を願い、社会福祉法人しがぎん福祉基金(理事長・高田紘一)を昭和59年に設立しました。滋賀県内を中心に展開される福祉の実験的・開拓的な取り組みを支援するもので、28回目の平成24年度は11団体に総額790万円を助成しました。助成累計はこれで413件、3億1,106万円となりました。



高田理事長(左)から福祉団体の皆さまへ目録を贈呈



「しがぎんカップ」で熱戦



小学生のサッカー大会「平成23年度しがぎんカップ」に県内の約140チーム、約2,500名の選手が参加。熱戦の結果、野洲ジュニア・フットボール・クラブが優勝しました。青少年の健全な育成と地域共感を、と当行創立60周年(平成5年)から協賛、毎年開催しています。



大会3連覇の「野洲ジュニア・フットボール・クラブ」の皆さん(決勝:平成23年11月23日)

「しがぎん1日バスケットリニック」

しがぎんバスケットボール部女子部員による、小学生のミニバスケットボールチームを対象とした「しがぎん1日バスケットリニック」を定期的で開催しています。

平成23年度全日本実業団選手権大会で第3位に輝いた部員たちが、バスケットボールの楽しさを知ってもらおうと企画して平成23年10月にスタート。毎回たくさんの児童の皆さんに参加いただいています。



部員たちと練習に励む大宝ミニバスと治田東ミニバスの皆さん

新テレビCM 「コンサート編」を放映中



平成24年度の当行テレビCM「コンサート編」は、本店内の「しがぎんホール」で開かれる演奏会にお客さまをお迎えするストーリーで、これからも多くのお客さま、地域の皆さまに親しまれ、喜ばれる銀行に、との願いを込めています。



当行のホームページでもご覧いただけます

「びわ湖・アート・フェスティバル」を応援

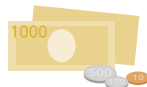


滋賀銀行グループのしがぎん経済文化センターは平成24年3月31日、滋賀県から委託を受け、びわ湖ホールで開催された「びわ湖・アート・フェスティバル (BAF)」の制作に携わりました。BAFは滋賀を中心に活躍する若手アーティストが音楽や芸術作品を発表するもので、当日は4,400名の皆さんが来場されました。



会場内に歌声が響き渡りました

「銀行のおしごと体験教室」を開催



小学生や中学生にさまざまな仕事を体験してもらい、「将来」を考える手がかりに、と「おうみしごと体験フェスタ」が平成23年10月15、16両日、草津市で開催されました。

当行は「銀行のおしごと体験教室」を開き、子どもたちは銀行のしくみを学んだり、お札の数え方などを練習、「お金」を身近に感じてもらいました。



はじめての札勘定にドキドキです